

日本標準商品分類番号	875200
承認番号	61AM第3620
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年11月

貯法・取扱い上の注意

吸湿しやすいので、使用後は密栓し、直射日光を避け涼しいところに保管すること。

使用期限

ラベル又は外箱に表示。

真武湯

S-02

本品は傷寒論に記載されている「真武湯」の水製エキスを細粒剤にした服用しやすい製剤である。

*【組成】

本品1日量(4.5g)中、下記の日局真武湯エキス2.4gを含有する。

日局	ブクリョウ	5.0g	日局	ビャクジュツ	3.0g
日局	シヤクヤク	3.0g	日局	加工ブシ	1.0g
日局	ショウキョウ	1.0g			

添加物として乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、軽質無水ケイ酸を含有する。

【性状】

本品はかっ色の細粒で、特異な芳香を有し、味は苦い。

【効能又は効果】

新陳代謝機能の衰退により、四肢や腰部が冷え、疲労倦怠感が著しく、尿量減少して、下痢し易く動悸やめまいを伴うものの次の諸症

胃腸虚弱症、慢性胃腸カタル、慢性腎炎

【用法及び用量】

通常、成人1日4.5gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 体力の充実している患者 [副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- (2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者 [心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

頻度不明	
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等
その他	心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量する等注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれる加工ブシの副作用があらわれやすくなる。]

6. 小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。[本剤には加工ブシが含まれている。]

【包装】 500g、1.5g×300包

